

## ユネスコスクール全国大会に向けて



▲記者会見を行う市教委  
安田教育長、大迫事務局長、  
井上事務局次長

「第9回 ユネスコスクール全国大会(持続可能な開発のための教育(ESD)研究大会)」が12月2日(土)に本市で開催されることについて、記者会見が行われました。この大会は、ESDの推進拠点であるユネスコスクールを軸に、ESDに関心のある者が集い、ESDのさらなる発展を目指し、実践交流を行うもので、九州では初の開催です。大学以外での開催も初となります。すでに地元実行委員会も結成され、準備がスタートしました。大牟田のESDを国内外に発信するよい機会となるようにしたいものです。

## 自然とともに…ネイチャースクール開催!



6月3日、ネイチャースクールin延命公園が開催されました。今回は、21名の子どもたちが参加。延命公園周辺に生息している動植物について、ネイチャーガイドの柿川和機さんから説明を受けたり、実際に見たりするなど有意義な時間を過ごしました。「自然大好き」の子どもたちが増えて、身近な環境に関心を持ってほしいものです。

## ちいきESD講座スタート!



各学校で行われているESDの取組やユネスコスクールに関することについて、市民の方々に、もっと知っていただくために「ESDちいき講座」が開かれています。各地区公民館等で実施されており、多くの方々が受講されています。学校だけではなく、家庭や地域へと広がり、市民みんなで、大牟田の未来を考え行動できるようになることを願っています。

## 手鎌小学校の実践

### 郷土の発展の歴史を知り文化を引き継ぐ子ども達

4年生は、干拓の学習で、干拓が1000年に渡る人々の努力と苦労の上に築かれた大事業であることをとらえます。そして、干拓の仕事の様子と人々の気持ちを表現した「濁いね踊り」を教わり、引き継ぐことにより、先人の思いにせまります。

5年生は、水田で農業体験をし、収穫した米で「黒崎串だご」を作ります。串だごは、干拓の仕事や農作業の合間に食べられていた郷土の伝統食です。

一連の学習を通して、子ども達は、先人が土地を開き、農業を営み、産業や暮らしに根ざした文化を生み出したことの価値をとらえ、自分達が歴史と文化を引き継いでいく担い手となることを自覚します。



## 田隈中学校の実践

### 「夢に向かって羽ばたく田隈しい生徒」

〔車いすバスケットボール体験〕1年生

桜花台クラブの皆さんから競技用車いすの操作法を教えていただき、楽しくバスケットを楽しむことができました。健常者と障害をもたれている方どのように共存していくことができるかも学ぶことができました。

〔職業ガイダンス〕3年生

将来、自分のなりたい職業は何かを探すきっかけを職業ガイダンスで知ることができました。夢に向かい、どんな道を進めば夢が叶うのか、という勉強もしました。生徒は、目を輝かせて講師の方の話に耳を傾け、積極的に質問をしました。

